

2024年度 日本がん看護学会災害対策委員会事業  
がん看護における新型コロナウイルス（COVID-19）の長期的影響と  
看護職の支援ニーズ及び自然災害の備えに関する調査 結果概要

災害対策委員会 吉田詩織、今津陽子、菅野久美、中山祐紀子、宮下光令

1. 調査期間 : 2024年11月22日から2025年1月10日
2. 調査対象者 : 日本がん看護学会メーリングリストへ登録している正会員
3. 調査目的 :
  - ・2024年時点における「新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴うがん治療・看護への長期的な影響と支援ニーズ」を明らかにし、感染拡大禍であった2020年及び2022年の調査結果と比較する。
  - ・パンデミック以外の災害に対し、臨床実践現場にいる学会員の自然災害に対するがん看護への備え状況を明らかにする。
4. 調査方法 : 無記名Web調査
5. 回答者数 : 192名
6. 結果総括 :

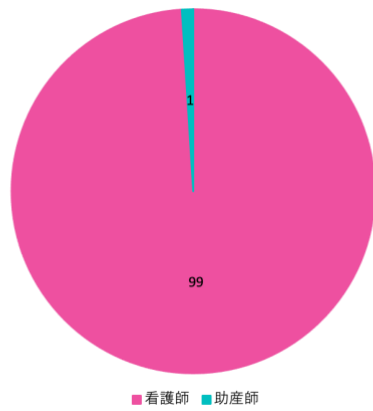
今回の調査は、新型コロナウイルスが2023年5月8日に感染症法において5類感染症へ変更となり1年以上の月日が経過した時期に実施した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による看護への影響では、2020年、2024年と比較して病棟での看護、手術療法、緩和ケア、患者会開催などの影響は低下したが、薬物療法、外来及び在宅看護に関する影響は増加していた。COVID-19に伴う外来がん薬物療法を受ける患者・家族への情報提供の手引きの活用に微増したものの、手引きを知らない割合は約半数であった。

また、日本がん看護学会災害対策委員会は、新型コロナウイルス（COVID-19）流行後に発足し、パンデミック災害への対応を中心として実施していたが、今後はその他の自然災害に対しても災害対策を検討する時期にある。本調査によるがん看護における自然災害の実態では、勤務中に想定される自然災害は地震が最も多く、次いで豪雨、暴風であった。所属組織における災害に対する備えでは、約半数ができていたが、できていない割合も同程度であった。自然災害に対する備えの実態では、災害が起こると患者にがん治療や看護ができない恐れがある、災害時は自分の身を守る、地震の時に命を守る行動を取るといった項目の得点が高い一方で、被災時の患者が行政から受けられる支援、患者・家族への備蓄に関する説明、連絡手段や災害時の対応を家族や知人と共有する説明、必要なものを余分な準備の説明などといった患者教育に関する得点が低かった。日本がん看護学会に求める災害時の支援で最も多かったものは災害時のがん患者支援ガイドであり、次に看護師の支援ガイドといったニーズであった。

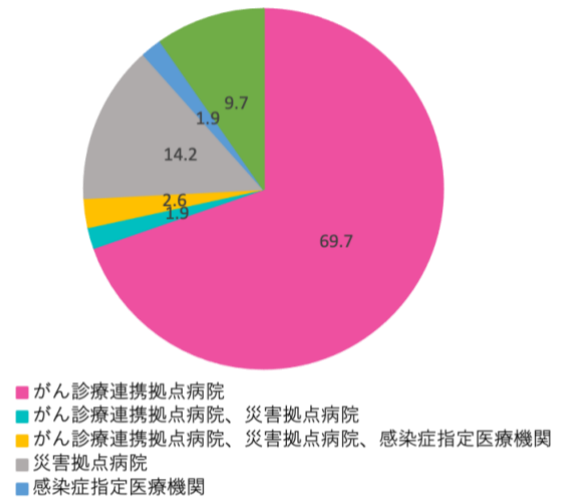
日本がん看護学会災害対策委員会では、この度を調査結果から今後の支援体制の構築を検討致します。本調査にご協力いただきました皆様に深くお礼申し上げます。

## I. 回答者背景

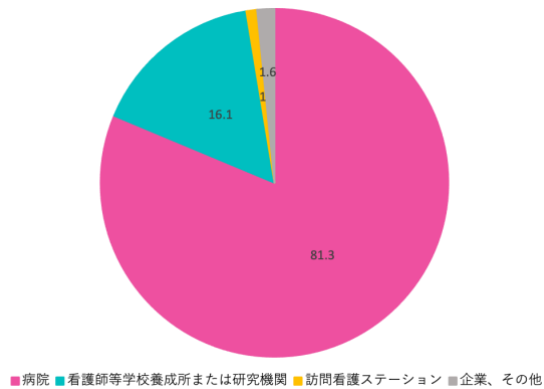
勤務役割 (n=192)



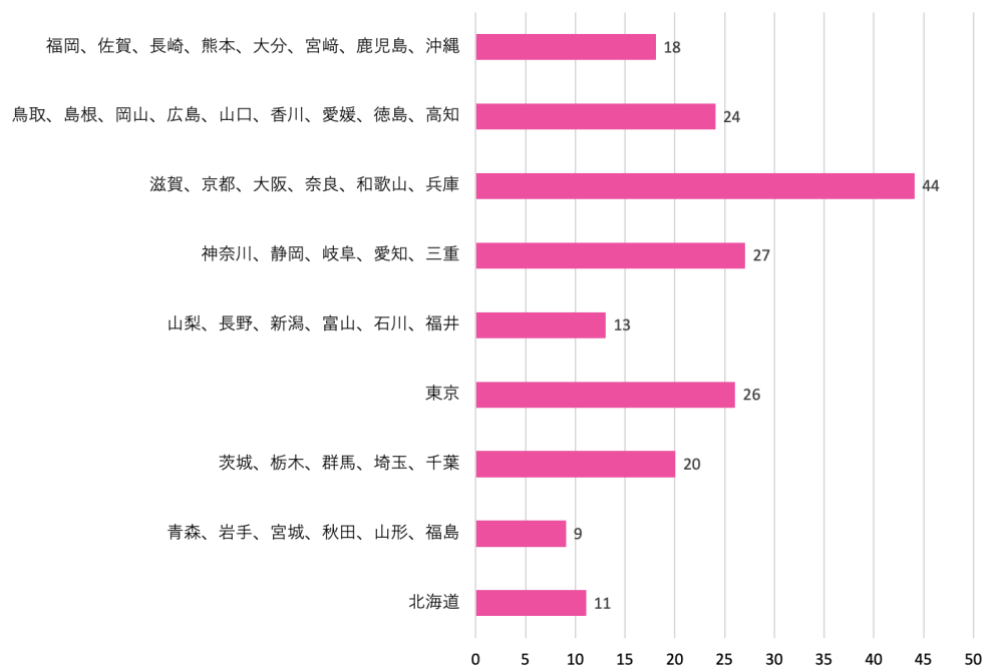
病院種別所属施設 (n=156)



所属施設 (n=192)



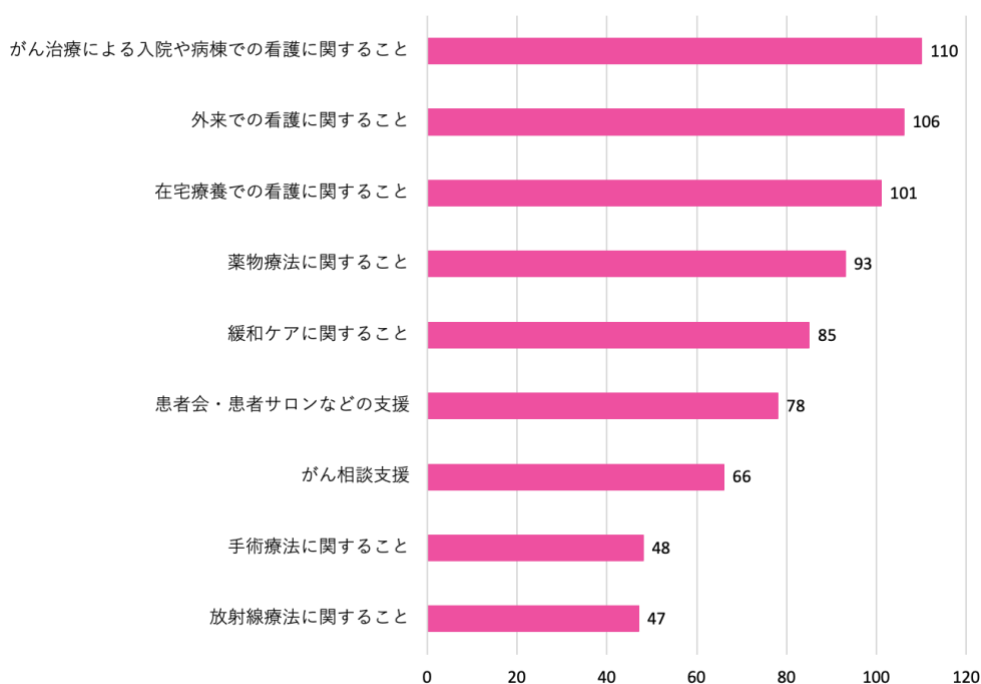
現在の勤務地区 (n=192)



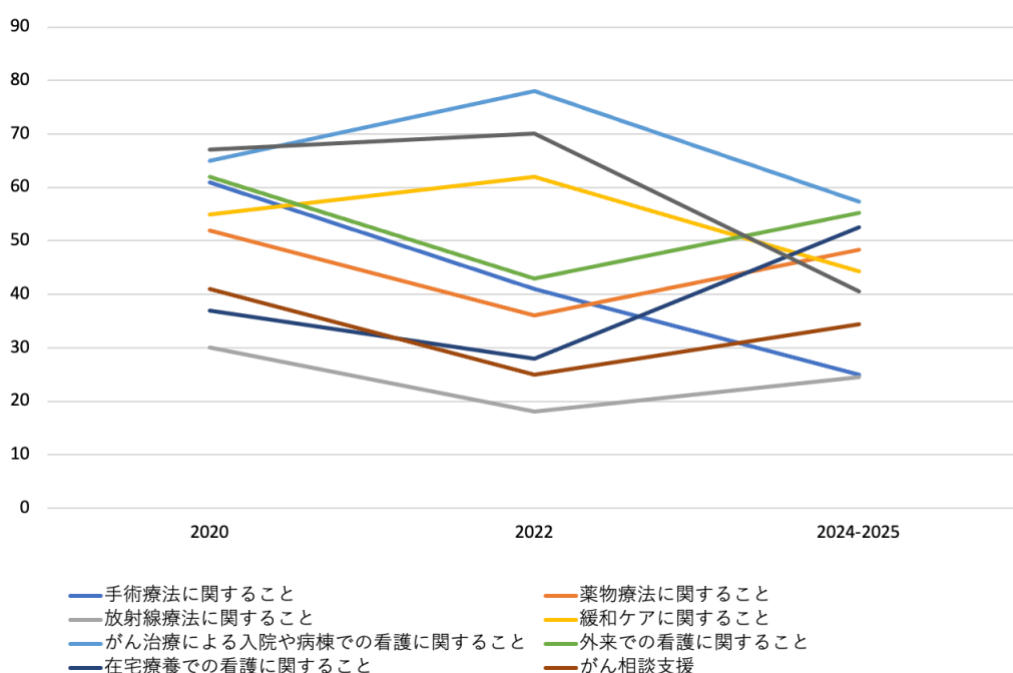
## II. がん看護における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期的影響と支援ニーズ

現在（2024年11月22日～2025年1月10日）、がん看護を実施する上で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による長期的な影響や看護職が抱えている支援に対するニーズ複数回答（n=192）

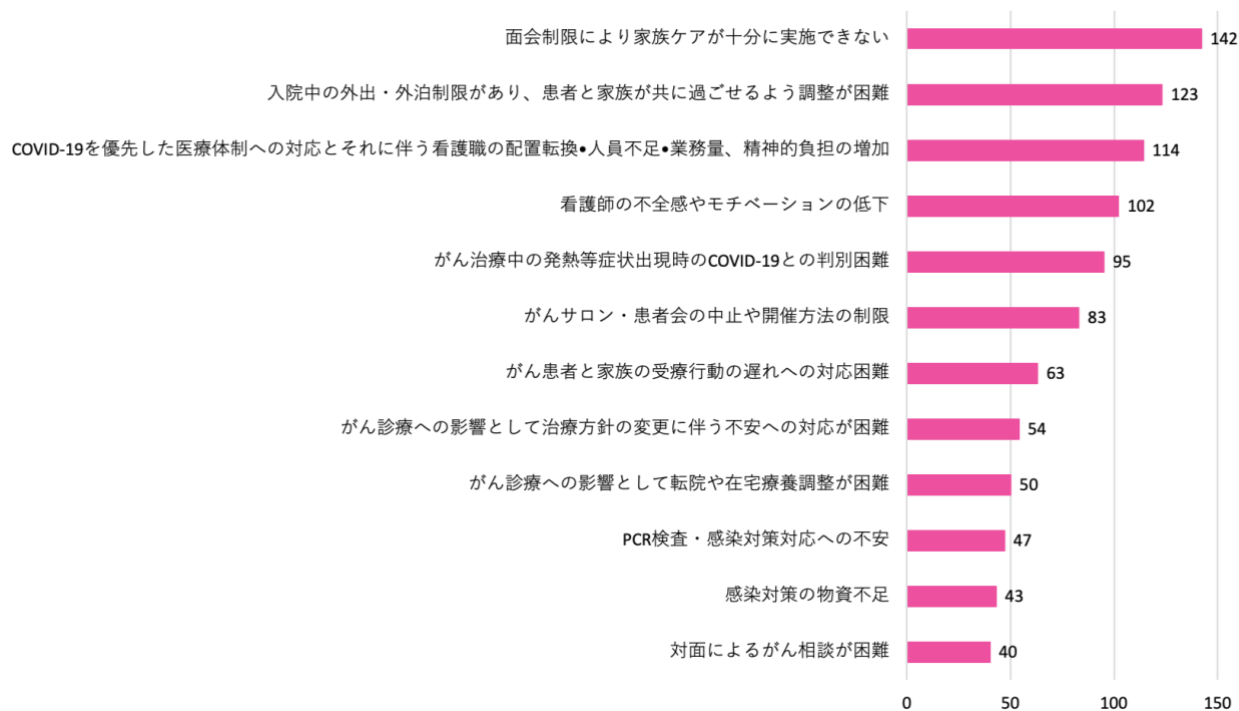
### 2024年度調査結果



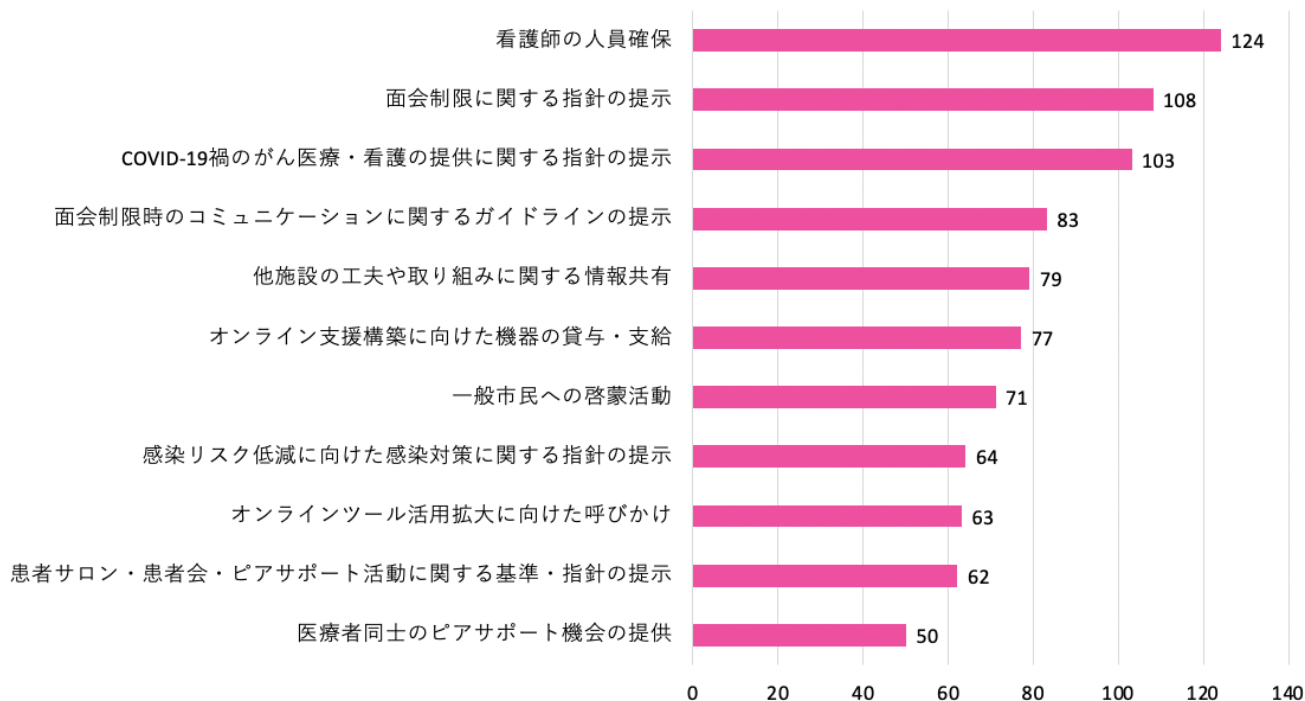
### 2020年度、2022年度及び2024年度調査結果推移



所属施設における COVID-19 感染拡大によってがん治療・看護への影響について困っていること 複数回答 (n=192)

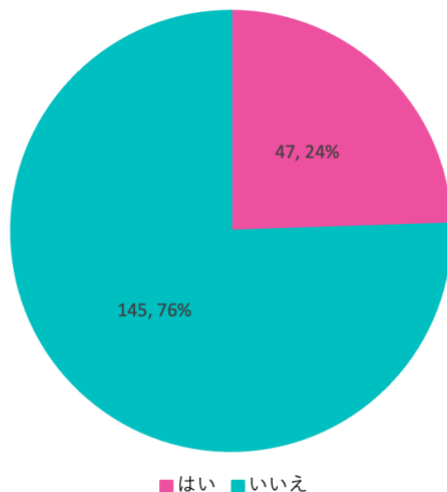


所属施設における COVID-19 感染拡大によるがん治療・看護への影響に関して求める支援・改善策 複数回答 (n=192)

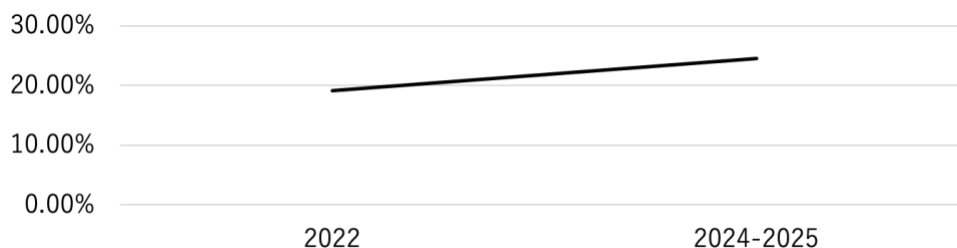


### Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に伴う外来がん薬物療法を受ける患者・家族への情報提供の手引きの日々の看護への活用

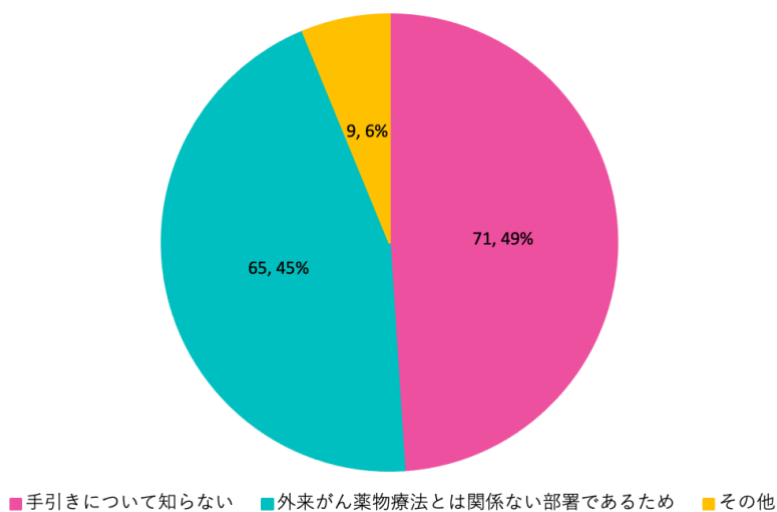
2024 年度調査結果 (n=192)



2022 年度及び 2024 年度における調査結果

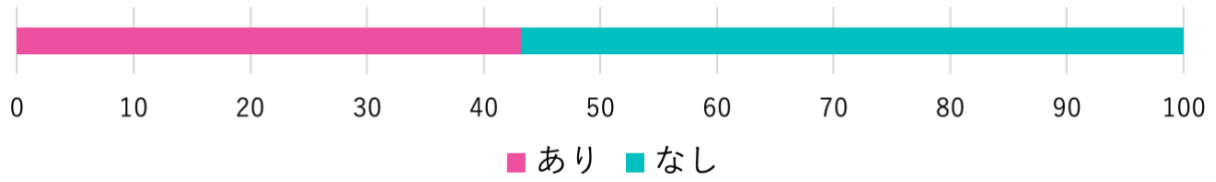


いいえを選択した人  
手引きを活用していない理由 (n=145)

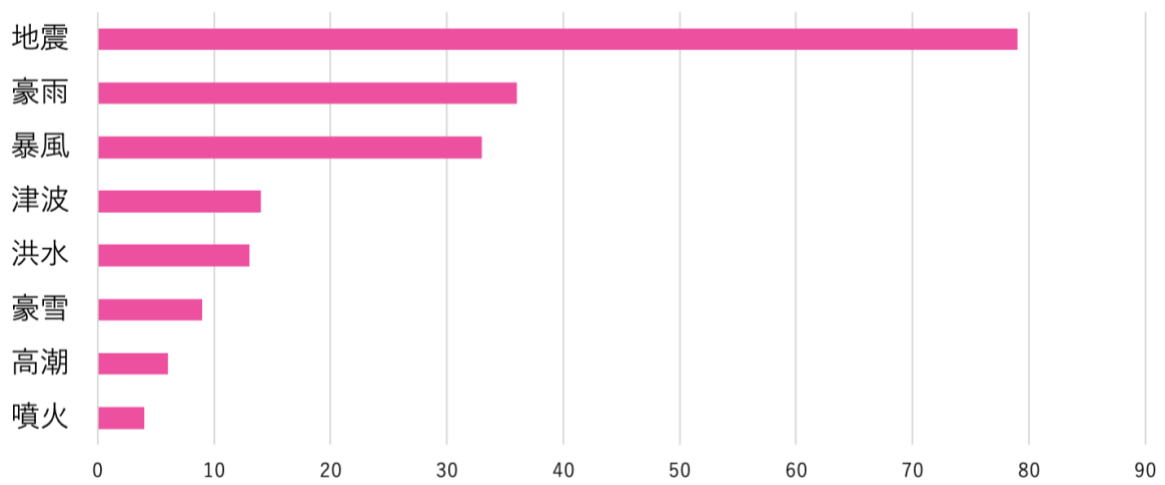


#### IV. 看護師の自然災害の備え

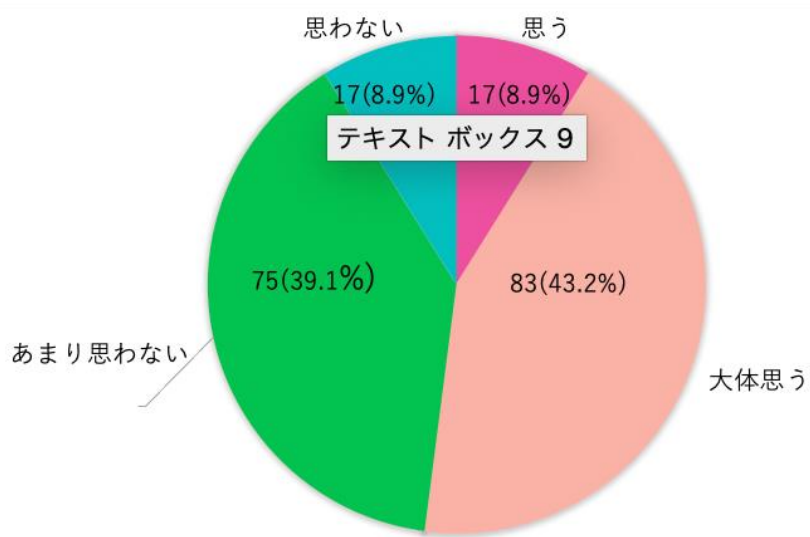
勤務中の災害経験 (n=192)



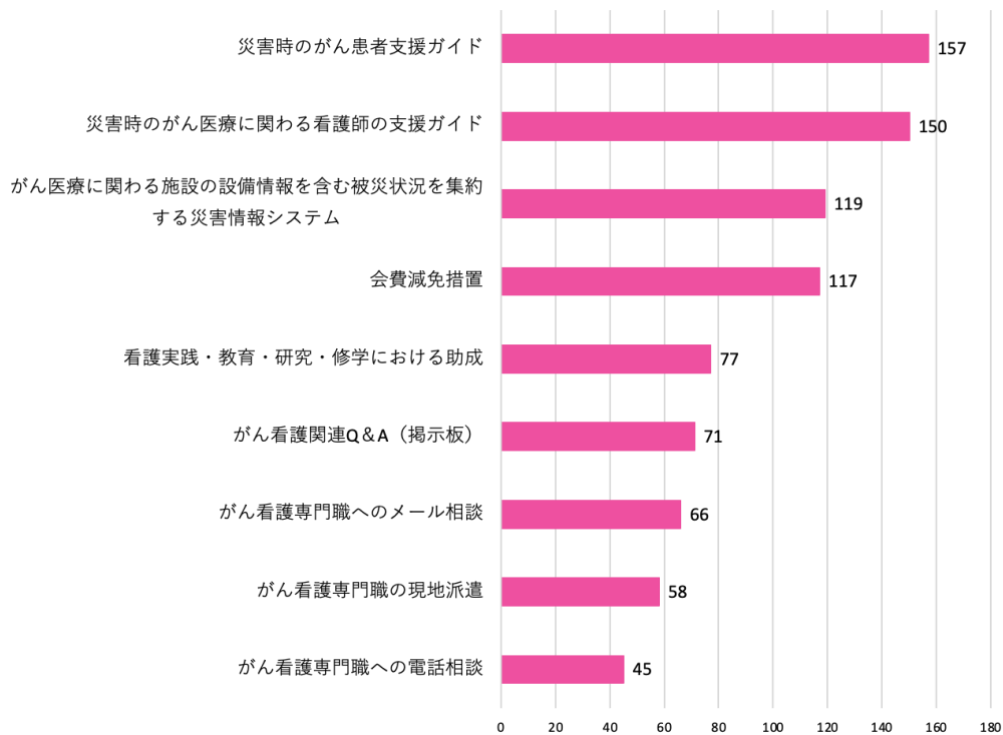
勤務中の災害経験がある対象者の所属施設において想定される自然災害  
複数選択 (n=82)



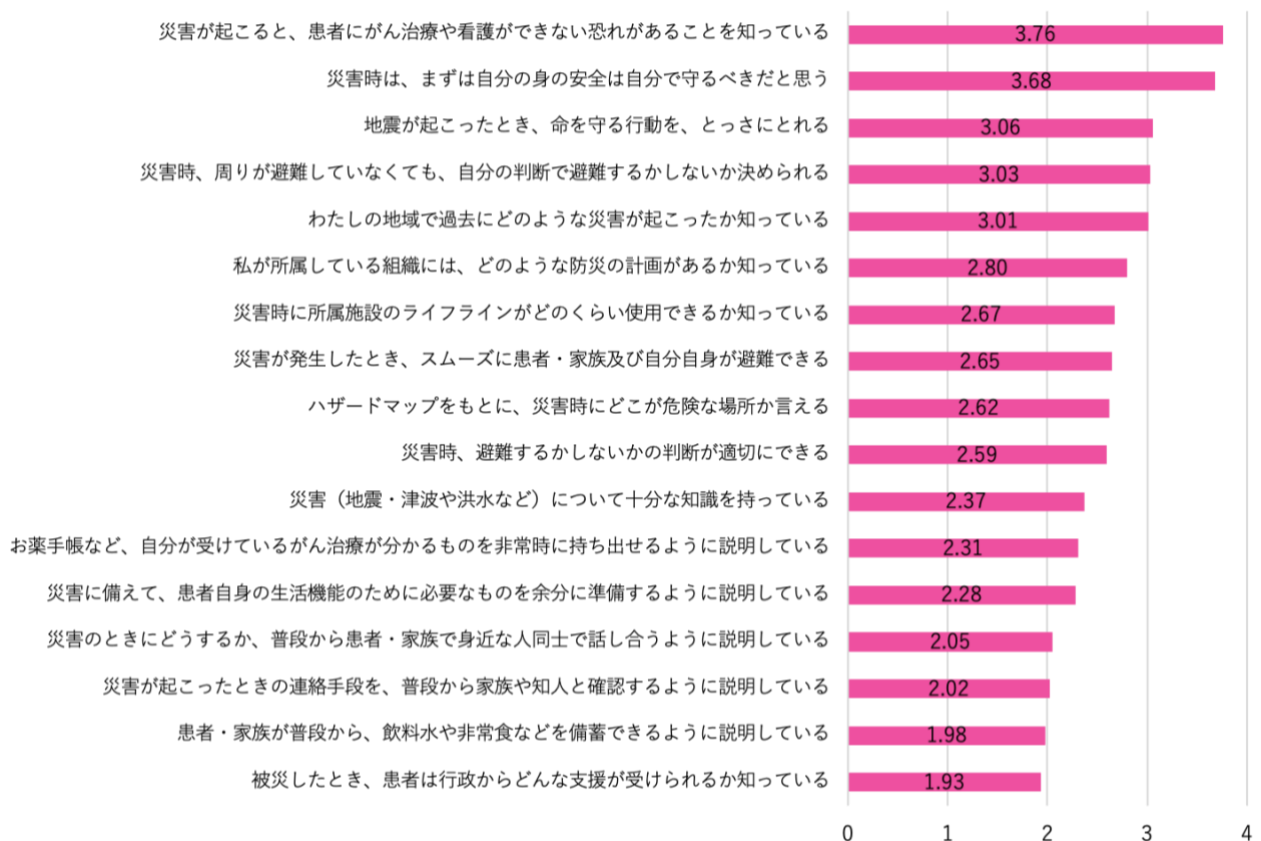
所属する組織における想定される災害への備え (n=192)



## 激甚災害被災時に、日本がん看護学会に求める支援ニーズ (n=192)



## 臨床（病院、訪問看護ステーション、診療所、高齢者福祉施設等）で看護業務を実施している方を対象にした、がん看護における自然災害への備え (n=192)



\*各項目に対して、あてはまらない（1点）～あてはまる（4点）で回答する。